

2009年10月4日（日）

「カラーユニバーサルデザイン講演会」

- 案内ちらし・・・30
- 事項書・・・31
- アンケート・・・32
- 新聞記事・・・33
- 参加依頼文・・・34

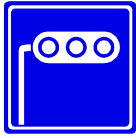
【参考資料】

＜マニュアル作成までの道のり＞

回数	年月日	会議内容
1	2009年 4月26日（日）	「みんなが参加できる講演会」とは
2	5月23日（土）	事業の趣旨と講演会の開催日程
3	6月20日（土）	参加しやすい・理解しやすい・退屈しない講演会
4	7月25日（土）	講演会の内容を確認・マニュアルの検討
5	8月22日（土）	講演会の進行と役割分担の確認
6	9月28日（月）	講演会のリハーサル
7	10月 4日（日）	カラーユニバーサルデザイン講演会
8	10月29日（木）	講演会の反省・マニュアルの検討
9	11月19日（木）	マニュアル（作業シート）の検討
10	2010年 1月21日（木）	マニュアル（作業シート）の検討
11	2月 4日（木）	マニュアル全体のまとめ



いま、すべての人にやさしい色（いろ）の必要性がもとめられています。



色・いろいろな



# 「カラーユニバーサルデザイン」講演会

男性の20人に1人、女性の500人に1人が色弱者だといわれています。  
国内には320万人います。人はみんな、さまざまな夢や希望を持っているように、見ている「色」も違います。自分以外の人たちの色の世界はどのようになっているのでしょうか。  
信号機の色は？ バスや鉄道の路線図は？ 電光掲示板は？  
「色」について知り、学んでは見ませんか・・・。

◆日時 10月4日（日）13:30～15:45 （開場13:00）

◆場所 伊賀市ゆめぼりすセンター 2階 大会議室

◆講師 <sup>いが こういち</sup>伊賀 公一さん（テクニカルアドバイザー・1級カラーコーディネータ）  
特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長

◆参加費 無料

◆定員 50名（申込不要）

◆要約筆記 有

◆磁気誘導ループ 有

◆託児 有（小学6年生まで5名）

※ 下記まで要予約 締切 9月24日

◆多目的トイレ 有

→ 会場案内図



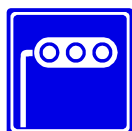
主催：特定非営利活動法人ユニバーサルデザイン同夢（どうむ）

住所：〒518-0823 三重県伊賀市四十九町 1278-26

TEL&FAX：0595-23-9513 Eメール：son@doumu.net

URL：http://www.doumu.net

後援：三重県／伊賀市／伊賀市教育委員会



主催：特定非営利活動法人ユニバーサルデザイン同夢  
日時：2009年10月4日（日）午後1時30分～3時45分  
場所：伊賀市ゆめぽりすセンター 2階 大会議室



色・いろいろな色

# 「カラーユニバーサルデザイン」講演会

- 開会
- 挨拶
- 講演 「カラーユニバーサルデザイン」

講師 伊賀 公一（いが こういち） さん

特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長

伊賀公一（いがこういち）

視覚情報デザインコンサルタント

特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長

強度の色弱者で東商1級カラーコーディネーター

1955生 徳島県出身

早稲田大学在学中よりITの開く未来に目覚め中退、ITベンチャー役員、

DTP講座講師、コンサルタント等を経て「CUDO」の設立に参画、CUDテクニカル

アドバイザーとして年100回以上の講演・セミナーを行い、コンサルタント、

外部顧問などを引き受けている。「ソラノイロ」代表

- 質問、意見交換
- 閉会



# 色弱者に優しい街を

伊賀で天月4日 実例挙げ課題紹介

色覚に障害を持つ人に配慮した街づくりを学ぶ「色覚に優しい街づくり」に関する講演会が、10月4日午後1時半、伊賀市ゆめほりセンターで開催される。

国内には300万人以上の色弱者がいるとされ、一階の人が分かりやすいようにと、カラフルに作られた電中・バスの路線図、点光源示板などは、色弱者が見ると判別しにくい色の組み合わせになっていることが多い。信封機も赤と青の区別がつかなく、色弱者は光るランプの左右を判断して

講演会では、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(本部・東京)副理事長で、1級カラーコーディネーターの伊賀公一さんが講師を務め、実例を挙げて色の問題を紹介、質疑応答の時間も設ける。

回費が「色」をテーマに講演会を開くのは初めて。孫美知代表は「図画工作や美術の授業で、色弱の子もが「色の違いがおかしい」と注意され、いじめにつながることもある。教育現場の人にも、ぜひ聴講してほしい」と呼びかけている。

無料。定員50人で、事前申し込みは不要。要約筆記と聴覚誘導ループを用意しており、聴覚障害者も気軽に参加できる。話は大人までで、事前連絡が必要。問い合わせは回費(23・9513)へ。

【講演会の広報】  
開催を知らせる  
新聞記事



●読売新聞  
2009年9月7日(月)

●中日新聞  
2009年9月9日(水)

◇カラーユニバーサルデザイン講演会 10月4日午後1・30、伊賀市ゆめほりセンター。特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構の伊賀公一副理事長が、国内に300万人以上いるとされる色弱者に配慮したカラーユニバーサルについて話す。特殊なデジタルを使って色弱者の見え方を体験し、信封機やバスの路線図などすべての人に情報が伝わる色の必要性を学ぶ。回費(23・9513)へ。



●伊和ジャーナル  
2009年9月26日(土)

色覚に配慮したデザイン講演会

特定非営利活動法人ユニバーサルデザイン同夢(孫美知代表)は、10月4日、伊賀市ゆめほりセンターで「カラーユニバーサルデザイン講演会」を開催。

人間の色の感じ方は一様ではなく、遺伝子のタイプの違いなどの理由で色の見え方が一般と異なる人は全国に五百万人以上存在する

とされるが、多様な色覚をもつ人に配慮したデザインについて、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構副理事長の伊賀公一さんから話を聞く。

午後一時に開場し、一時三十分から三時四十五分まで、参加無料。要約筆記と聴覚誘導ループの出典がある。申し込み不要。

問い合わせ、託児予約は同法人(電話・ファクス026955・23・9513)へ。

## 【講演会の広報】

### 参加依頼文



2009年9月1日

特定非営利活動法人ユニバーサルデザイン同夢

代表 孫 美知

みなさま方へ

みなさま方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
特定非営利活動法人ユニバーサルデザイン同夢は「すべての人が自分らしくいきることのできる共生社会」の実現をめざして、ユニバーサルデザインのまちづくりをしている市民活動団体です。

さてこのたび、「カラーユニバーサルデザイン講演会」を開催することになりました。

【カラーユニバーサルデザイン】とは、  
人間の色の感じ方は一様ではありません。遺伝子のタイプの違いやさまざまな目の疾患によって色の見え方が一般の人と異なる人が、合計すると日本に500万人以上存在します。こうした多様な色覚を持つさまざまな人に配慮して、なるべく全ての人に情報がきちんと伝わるように利用者側の視点に立ってつくられたデザインをいいます。

NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構から講師をお招きしていますので、具体的な事例を紹介していただきながら、利用者の視点に立った「色」について学ぶことができます。日頃の業務にも役立つと思いますので、お忙しいとは思いますが、ぜひご参加をいただきますよう、よろしくお願ひします。

